

1 研究主題

(令和7年度～9年度 3カ年継続研究 1年次)
一人一人が多様な幸せを実現できる
持続可能な社会の創り手を育てる学校教育の推進

2 研究推進の概要

(1) 「6月研修会」の開催・運営

- 期 日 令和7年6月2日(月) 中学校長会議終了後実施
- 会 場 上川教育研修センター第1研修室
- 内 容 第66回北海道中学校長会研究大会胆振・室蘭大会、第5分科会におけるプレ提言。

(2) 上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催に向けた準備及び参加・運営

- 期 日 令和7年7月30日(水)
- 会 場 旭川市大雪クリスタルホール
- 全体会 講演 「管内教育の充実・発展に向けて」
講師 北海道教育庁上川教育局長 今村 隆之 様
- 分科会 中学校第1分科会 主題Ⅰ「創意と活力に満ちた学校経営の推進」
提言者 小田嶋 智一(旭川市立北星中学校)

(3) 第66回北海道中学校長会研究大会胆振・室蘭大会への参加(参加12名)

- 期 日 令和7年9月26日(金)～27日(土)
- 会 場 室ガス文化センター、室蘭プリンスホテル、むろらん広域センタービル
- 内 容 全体会 開会式、全日中会長教育情勢報告、全日中研提案説明、分科会、記念講演
- 分科会 第5分科「学校と地域の連携・協働による『チーム学校』と『働き方改革』の実現」
提言者 坂田 幸親(旭川市立広陵中学校)

(4) 第76回全日本中学校長会研究協議会香川大会への参加(参加2名)

- 期 日 令和7年10月22日(水)～24日(金)
- 会 場 香川県高松市レクザムホール ほか
- 内 容 全体会 開会式、文部科学省説明、全体協議会、分科会、記念講演

(5) 「2月研修会」の開催・運営

- 期 日 令和8年2月2日(月)
- 会 場 神楽公民館第1学習室
- 内 容 講演 「学校職員の不祥事防止について」
講師 北海道教育庁総務政策局総務課 主幹 古屋 和治 様

(6) 研究紀要(第53集)の編集・発刊・配付等

3 研究の成果と課題

- (1) 上川管内公立小・中学校長教育研究大会の主管校長会として、旭川市小学校長会、上川管内校長会と協力し、所期の目的を達成することができた。
- (2) 北海道中学校長会研究大会胆振・室蘭大会への参加から各地区の好事例を研修するとともに、第5分科会において旭川市中学校長会の取組について発信することができた。また、全日本中学校長会研究協議会香川大会への参加により、情報収集に努め、会員への還元を図ることができた。
- (3) 2月研修会では、喫緊の課題解決に向けた取組や教職員の資質・能力向上の必要性について研修を深めた。

1 研究主題

(令和7年度～9年度 3カ年継続研究 2年次)
一人一人が多様な幸せを実現できる
持続可能な社会の創り手を育てる学校教育の推進

2 研究主題設定の趣旨

基本主題は、これまで積み上げた各学校の研究実績のもと、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる学校教育の推進を目指している。

また、以下の「研究主題」ごとに、上川管内の各学校、地域の特色等を踏まえた教育推進に関わる校長の指導の在り方について、管内三校長会の総力を結集して究明し、管内教育の充実に資するものとする。

3 研究内容

(1) 研究主題Ⅰ 「創意と活力に満ちた学校経営の推進」

ア 小主題1 「グランドデザインの構築と活力ある学校経営」

(視点) 学校として育成を目指す資質・能力、グランドデザイン、組織マネジメント 等

イ 小主題2 「教育の質を高める教職員の資質・能力の向上を図る学校経営」

(視点) 育成指標に基づくキャリアステージに応じた資質・能力の向上、働き方改革 等

(2) 研究主題Ⅱ 「社会に開かれた教育課程の推進」

ア 小主題1 「確かな学力を育成する教育」

(視点) 「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業改善、多様な学びの場の整備 等

イ 小主題2 「豊かな心を育てる教育」

(視点) いじめ・不登校の未然防止・早期発見・適切な対応、キャリア教育、人権教育 等

ウ 小主題3 「健やかな体を育てる教育」

(視点) 体力、運動能力の向上、自律的な生活習慣、食育、健康・安全教育

エ 小主題4 「今日的な教育課題に対応する教育」

(視点) GIGAスクール構想の推進、学校の実態に即した特色ある教育（国際理解教育等）

4 研究推進計画

- (1) 6月と2月の研修会では、今日的な教育課題に対応する資質能力の向上に努める。
- (2) 旭川市小学校長会・旭川市中学校長会・上川管内校長会（以下、三校長会）合同の研究会を実施し、各地区の研究成果について交流する。
- (3) 第77回全日本中学校長会研究協議会長野大会に参加し、最新の教育情勢等、会員への還元を図る。
- (4) 研究成果については、年度末に「研究紀要」としてまとめ、全会員で共有を図る。

5 研究組織

- (1) 三校長会を研究母体とし、夏季休業期間中に合同研究会を開催する。必要に応じて研究担当者会議を開き、計画・運営について検討する。また、合同研究会では、北海道教育庁上川教育局及び旭川市教育委員会、上川教育研修センター等に指導・助言を依頼する。
- (2) 合同研究会では、小学校3分科会、中学校2分科会を設置し、年次ごとの「研究のねらいや視点」に沿って研究を推進する。
- (3) 令和9年度北海道中学校長会研究大会上川・旭川大会に向けて、旭川市地区全体で準備を進める。
- (4) 旭川市中学校長会研究部で、喫緊かつ今日的な教育課題及び旭川市中学校内の状況を勘案し、適切な研修を設定する。